

# 大丸有版MaaS事業

多種多様なモビリティ及び、目的地となる商業店舗やワークスペースなどが多数存在する大丸有地区において、交通手段を含めた人の一連の行動データを連携させ、エリアサービスと一貫したハーフマイル移動の支援を行うとともに、情報提供により誘発される行動変容について分析し、さらに魅力的なラストハーフマイルエリアを目指す。

構成員	大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティ推進コンソーシアム、株式会社 MaaS Tech Japan 【幹事】一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、株式会社 MaaS Tech Japan 【主なモビリティWGメンバー】 BOLDLY株式会社、東京地下鉄株式会社、日の丸自動車興業株式会社、株式会社Luup、株式会社ドコモ・バイクシェア	
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティビジョン・実行計画」において、スマートシティ化により最適化するべき課題を「区域の発展的課題」として定めている。ここで求める日常・非日常におけるエリアのポテンシャルの拡大・レジリエンスの増強を多様なモビリティサービス提供を軸に解決する。</li> <li>現在は、エリア内外の交通事業者の運行データ、混雑データや移動者の移動実態のデータを統合的に把握する手段がなく発展的課題解決のために、それらを踏まえた情報案内、施策分析・評価のできるツールが必要。</li> </ul>	
事業概要	サービス開始時期	2021年12月予定
	エリア	大手町・丸の内・有楽町地区（大丸有地区）
	MaaSシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通情報の統合データ基盤の構築</li> <li>交通情報を可視化する案内ダッシュボードの構築</li> <li>エリアマネ運営ツールとしての評価・分析ダッシュボードの構築</li> <li>実証実験アプリ(既存)のMaaSアプリ機能の付加</li> </ul>
	交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>エリア内循環バス</li> <li>パーソナルモビリティ</li> <li>鉄道等</li> </ul>
	交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>大丸有エリアで構築を進めている「大丸有版都市OS」と連携し、エリア内の情報についても連携を行う予定</li> </ul>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>大丸有エリアにおける交通データ（運行データや移動実態データ）を統合する交通情報の統合データ基盤の導入とモビリティ情報の提供を行う</li> <li>MaaSアプリにより、上記モビリティ情報に加え、周辺エリアの情報を提供するサービスと一貫したハーフマイル移動の支援を行う</li> <li>誘発される行動変容について分析するツール(評価・分析ダッシュボード)を整備し、分析結果を踏まえたリアルなまちへのフィードバックにより、大丸有エリアにおいての魅力的なラストハーフマイルエリアの実現を目指す</li> </ul>	

## 取組イメージ

### MaaSを通じて提供するサービスのイメージ

**大丸有アプリシリーズ**  
(実証期間中のユーザーの行動変容を促す仕掛け)

1 案内ダッシュボード



- 交通運行情報やエリアの混雑情報を案内する案内ダッシュボード
- Webで公開を想定

2 MaaSアプリ



- 交通運行情報等を活用したエリアの交通を案内するMaaSアプリ
- 一般公開を想定

他アプリサービス

**大丸有エリアマネ・運営ツール**  
(実証後の評価・分析でサービスの高度化を図るツール)

3 評価・分析ダッシュボード



- 新規モビリティの移動実績データを活用した、エリアマネジメント、関係者用の分析ダッシュボード
- 協議会内部での利用を想定

他エリアマネ運営ツール

APIゲートウェイ

大丸有版都市OS  
(データ利活用基盤)

データブローカー  
データブローカー

MaaSデータ  
統合基盤

各事業者の交通データを受取、変換、統合、出力を行う

モビリティ以外のデータ (エリアのデータ)

- 店舗クーポンデータ
- 樹木データ  
ベンチ位置データ
- ほか

エリアのモビリティデータ

- 丸の内シャトル (日の丸自動車)
- 自動運転シャトル (BOLDLY)

広域モビリティデータ

- 鉄道等
- シェアバイク (ドコモバイクシェア)
- 電動キックボード (Luup)

### 評価指標

- 案内ダッシュボードやMaaSアプリを通じてエリアの交通情報の案内を行い、ダッシュボードの利用数（アクセス数）を取得
- 店舗クーポン等、連携するモビリティ以外のデータの利用回数をアプリから取得
- 同時に、利用者アンケートでサービスの満足度や行動変容（交通手段の選択や店舗への立ち寄り）につながった割合を取得

### 今後の方向性

- 本事業の成果を踏まえながら、MaaSに特化した評価・分析ダッシュボードと、従来より大丸有スマートシティとして目指す「エリアマネ・運営ツール」とのダッシュボード間の連携・標準化の知見を得ることで、大丸有エリアで目指すエリアマネDXを持続的に継続していく。
- 交通データのほか、施設データなどの他分野のデータを利活用し、エリアの個人・企業向けサービスやエリアマネジメントを高度化するエリア管理者向けサービスの構築を進める